

第56期報告書

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで

お届けするのは、材料品質と納期品質のふたつのシーズ。

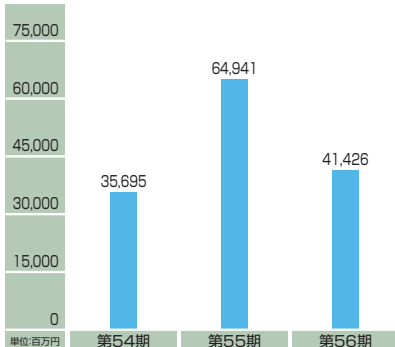
目指すのは、鉄鋼流通業界のリーディングカンパニー。



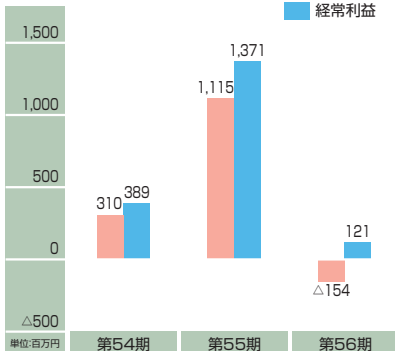
清和中央ホールディングス

財務ハイライト (連結)

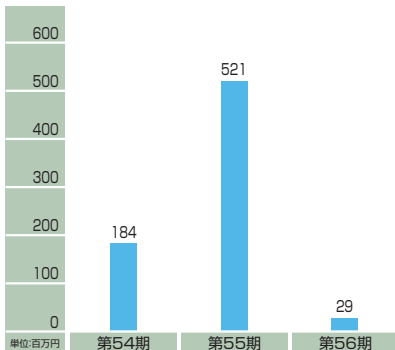
売上高



営業利益 / 経常利益



当期純利益



株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、
さらなる企業価値の向上に努めます。



代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第56期（平成21年1月1日から平成21年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第56期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期の事業環境はいかがでしたか。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱により前半は、国内、海外とも需要の減少に伴う生産調整や、設備投資の抑制などが大きく影響した結果、各企業の生産活動は極めて低調に推移しました。年後半になり、各国政府の景気刺激策による一部商品の需要回復や、企業の在庫調整の進展に伴い生産活動には改善が見られたものの、設備投資、建設投資の回復には繋がらず、雇用情勢も厳しく、失業率は高水準が続くなど、景気は総じて低迷が続きました。

鉄鋼業界におきましても、全国粗鋼生産量は年初より前年同月比で40%近い過去に例のない大幅な減少が続いておりましたが、年後半は東アジア地区の需要拡大に伴う輸出の大幅な増加もあり、粗鋼生産量は回復しておりますが、国内需要をみると、製造業向けは回復基調にあるものの建設業向けは依然低迷を続けております。

鉄鋼流通業界におきましても、需要業界の在庫調整は一巡し、一部製造業向け販売では回復の兆しがあるものの建設業向け販売に関しては、低落傾向に歯止めがかからず販売不振が続いており、販売価格も期を通じて大幅に値下がりするなど大変厳しい環境が続きました。

業績の推移はいかがでしたか。

当社グループは、仕入面においては引続き在庫調整に注力し、販売面においては、販売量の確保に重点を置いたきめ細かい営業活動を展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、前期比36.2%減の414億26百万円となり、営業損失は1億54百万円、経常利益は前期比91.1%減の1億21百万円となり、法人税等を差引いた当期純利益は、前期比94.3%減の29百万円の減収減益となりました。

今後の課題について聞かせてください。

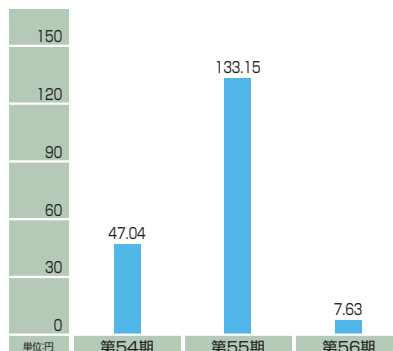
世界経済は東アジアを中心とした新興国の需要回復や生産活動に改善がみられるものの、国内景気は依然として設備投資や建設投資の回復には至らず、多くの企業で収益悪化の長期化が懸念されております。

鉄鋼流通業界も需要回復の兆しは乏しく、引続き厳しい経営を余儀なくされる状況となっております。

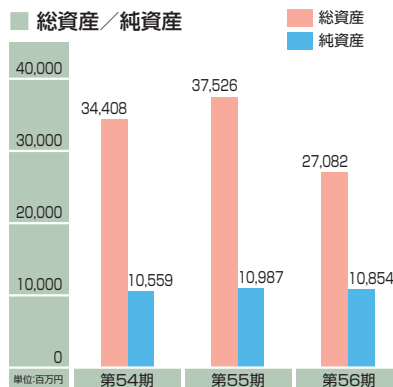
当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

- ① 当社グループは、グループ全体の内部統制を充実するとともに、コンプライアンス体制の強化を図ってまいります。
- ② 取引先のニーズを把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供するよりきめの細かい営業体制を一層充実し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

1株当たり当期純利益



総資産／純資産



事業別売上高

	売上高(百万円)	構成比(%)
条鋼類	24,692	59.6
鋼板類	6,995	16.9
鋼管・その他類	7,528	18.2
特殊鋼類	1,370	3.3
一般鋼材販売事業	40,588	98.0
その他の事業	838	2.0
合計	41,426	100.0

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成21年12月31日現在	前 期 平成20年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,665	27,563
現金及び預金	1,873	2,176
受取手形及び売掛金	11,445	20,144
有価証券	800	—
商品	2,107	4,390
その他	1,496	960
貸倒引当金	△ 57	△ 107
固定資産	9,417	9,963
有形固定資産	4,742	4,802
建物及び構築物	1,546	1,637
土地	2,830	2,784
その他	366	380
無形固定資産	555	706
投資その他の資産	4,119	4,453
投資有価証券	868	866
賃貸用不動産	2,515	2,591
その他	806	1,073
貸倒引当金	△ 71	△ 77
資産合計	27,082	37,526

科 目	当 期 平成21年12月31日現在	前 期 平成20年12月31日現在
負債の部		
流動負債	13,367	22,343
支払手形及び買掛金	8,569	16,254
短期借入金	3,400	4,740
1年以内返済予定の長期借入金	300	300
未払法人税等	327	465
その他	770	582
固定負債	2,860	4,195
長期借入金	1,200	2,550
繰延税金負債	1,135	1,189
その他	525	456
負債合計	16,228	26,538
純資産の部		
株主資本	9,385	9,473
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	8,071	8,159
自己株式	△ 23	△ 23
評価・換算差額等	190	196
少数株主持分	1,278	1,317
純資産合計	10,854	10,987
負債及び純資産合計	27,082	37,526

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
売上高	41,426	64,941
売上原価	37,944	59,389
売上総利益	3,482	5,551
販売費及び一般管理費	3,636	4,436
営業利益又は営業損失（△）	△ 154	1,115
営業外収益	438	504
営業外費用	162	248
経常利益	121	1,371
特別利益	63	4
特別損失	8	187
税金等調整前当期純利益	176	1,188
法人税、住民税及び事業税	265	804
過年度法人税等	70	—
法人税等還付税額	△ 116	—
法人税等調整額	△ 36	△ 224
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△ 36	86
当期純利益	29	521

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,138	2,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ 132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,899	△ 1,791
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 302	748
現金及び現金同等物の期首残高	2,076	1,327
現金及び現金同等物の期末残高	1,773	2,076

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成20年12月31日残高	735	601	8,159	△ 23	9,473	196	196	1,317	10,987
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 117		△ 117				△ 117
当期純利益			29		29				29
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△ 6	△ 6	△ 39	△ 45
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 87	—	△ 87	△ 6	△ 6	△ 39	△ 132
平成21年12月31日残高	735	601	8,071	△ 23	9,385	190	190	1,278	10,854

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

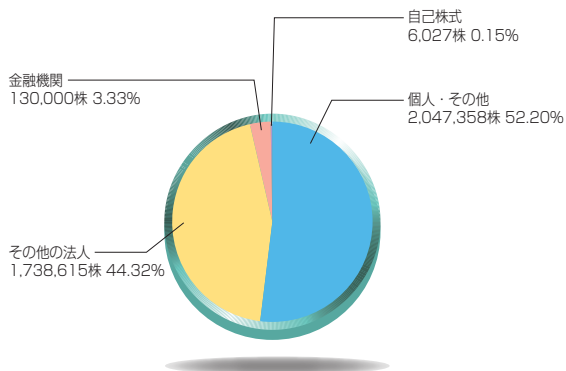
株式の状況 (平成21年12月31日現在)

1) 発行可能株式総数	12,000,000株
2) 発行済株式の総数	3,922,000株
3) 株主数	198名
4) 大株主	

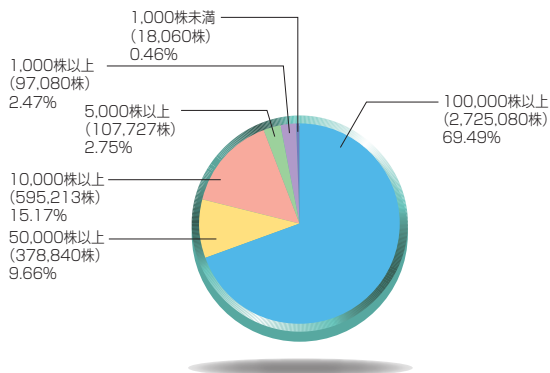
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	486,100 株	12.41 %
エスケー興産株式会社	485,800	12.40
阪上 正章	450,080	11.49
山口 久一	300,000	7.66
阪上 恵昭	281,400	7.18
阪上 寿美子	270,700	6.91
山口興産株式会社	131,000	3.34
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66
株式会社メタルワン	100,000	2.55

(注) 持株比率は自己株式(6,027株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



会社概要 (平成21年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	7億3,580万円
使用人数	14名
主要な事業内容	当社グループは、当社および子会社7社で構成され、一般鋼材の販売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務も行っております。
連結子会社	清和鋼業株式会社 中央鋼材株式会社 大宝鋼材株式会社 清和サービス株式会社

取締役および監査役

代表取締役会長	久 富 勇 三 郎
代表取締役社長	阪 上 正 章
常務取締役	阪 上 恵 昭 <small>管理本部長</small>
取締役	清 水 直 樹
取締役	西 本 雅 昭
常勤監査役	上 山 公
監査役	杉 本 武 <small>税理士</small>
監査役	八 木 千 之
監査役	久 富 順 平

(注) 監査役上山 公、杉本 武の両氏は、社外監査役であります。

Topics

『平成社長 還暦を迎え新たにスタート!!!』



当社代表取締役社長阪上正章は、平成22年1月に満60歳を迎え、社員一同による還暦記念パーティーが催されました。清和中央ホールディングス株式会社「平成社長」として、九州支店新倉庫建設、岡山支店開設、堺スチールセンター開設、清和鋼業(株)、中央鋼材(株)を子会社とする持株会社体制を築きました。

還暦を迎え新たな気持ちで、全社員、一丸となって、新たな成長戦略を展開してまいります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年12月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年6月30日（中間配当を実施する場合）
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本店でお支払いいたします。

清和中央ホールディングス株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南三丁目1番20号

TEL.06-6581-2141 FAX.06-6581-2138

www.seiwa-chuo-holdings.co.jp